

# 若者に良質な住まいを 「住宅賃貸はサービス業」 留学生には、おもてなしの心で

アイデント

都心に向かう小田急線が多摩川を渡る時、右手に見える3階建ての建物がタマエステイ国際学生会館。アイデント（狛江市猪方、大西一郎社長、03・3489・2411、<http://www.ident.jp>）が運営している物件のひとつだ。

今、東京の大学に子を進学させる地方の親の家計は大変厳しく、下宿は安いほうがいい…しかし、息子や娘を清潔で安全なところに住ませたいと願うのが親心。そんなニーズを満たすのが、東京と神奈川に点在する同社の家具付き学生向け賃貸住宅である。

家賃は相場並みながら、明るくリフォームされた玄関にオートロックの防犯ドアと防犯カメラ、館内にランドリールームや施設によっては宅配ボックスも設置してある。家具付き完全個室の部屋で、入居日からインターネットも使える。学生には贅沢かもしれないが、「住まいは人格形成に大きな影響を与える」と松下幸之助氏も説いたように、3畳一間で苦学の果てに感性が貧しくなつては本末転倒だ。上京して過ごす4年間でできるだけ豊かな発想力を培い、これからのソフト社会で活躍してほしいという願いをこめる。

また、当初から留学生や外国人研究者も受け入れ、最近では都の設置した留学生宿舍の運営も受託している。アメリカ留学経験のある大西社長は、「契約を重視する外国人には、ルールや決まりごとを



明確にし、おもてなしの心で接すれば、トラブルは避けられ日本によさも伝えられる」と語る。

外国人入居者の受け入れは、「大家と店子」という旧来の考えから「住宅賃貸はサービス業」への意識改革にも役立っている。「海外に留学する日本人の学生が激減していることが心配」と危惧する大西社長は、日本人学生の留学相談にも取組んでいる。